

県営農村地域防災減災事業（ため池整備）

野地区



富山県砺波農林振興センター



南 砺 市



南 砺 市 土 地 改 良 区

水と里ネット

1. 改修の経緯

野地溜池は、大正15年（1926年）に完工し、完成後まもなく100年が経過する。

築堤後、市道改修に伴い堤体の嵩上げならびに洪水吐の改修を行っているが、現施設には土砂吐ゲートや緊急放流施設が設置されておらず、斜樋の取水管は木栓であり、開閉が困難な状況となっている。

また、現況堤体上流側斜面に設置された遮水シートは破損しており、所要の遮水性を有しておらず、モルタル吹付部には、はらみだしやクラックが確認できる。現況堤体下流側斜面は、全体的に表層が緩く、所々に変形や穴（孔）が認められるほか、主に右岸側で漏水箇所が複数確認された。

これらの状況より、今後、豪雨・地震等の外的要因が加われば、ため池決壊やため池施設の機能が失われる危険性が極めて高く、下流の農地や周辺集落に多大な被害をもたらす危険性が懸念されるため、早急にため池堤体及び付帯施設の改修を行う必要があった。

このことから、平成29年度（2017年度）に県営農村地域防災減災事業（ため池整備）として着手し、令和4年（2022年）6月にすべての工事を完了した。本事業のため池改修は、災害の発生を未然に防止するとともに、安定的な農業経営を確保することを目的に実施された。

【改修前のため池状況】



全景

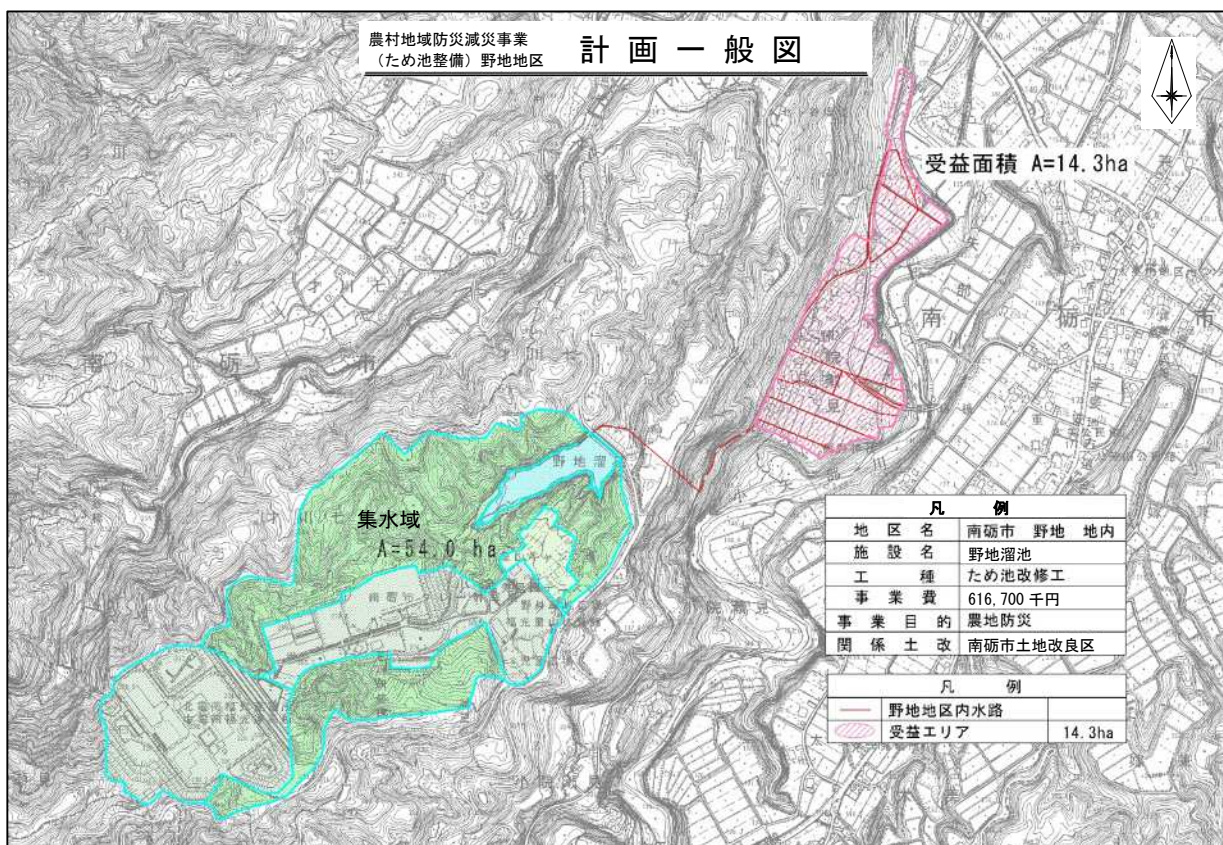


堤体上流側法面（遮水シート）



斜樋（木栓）

2. 位置図及び受益範囲

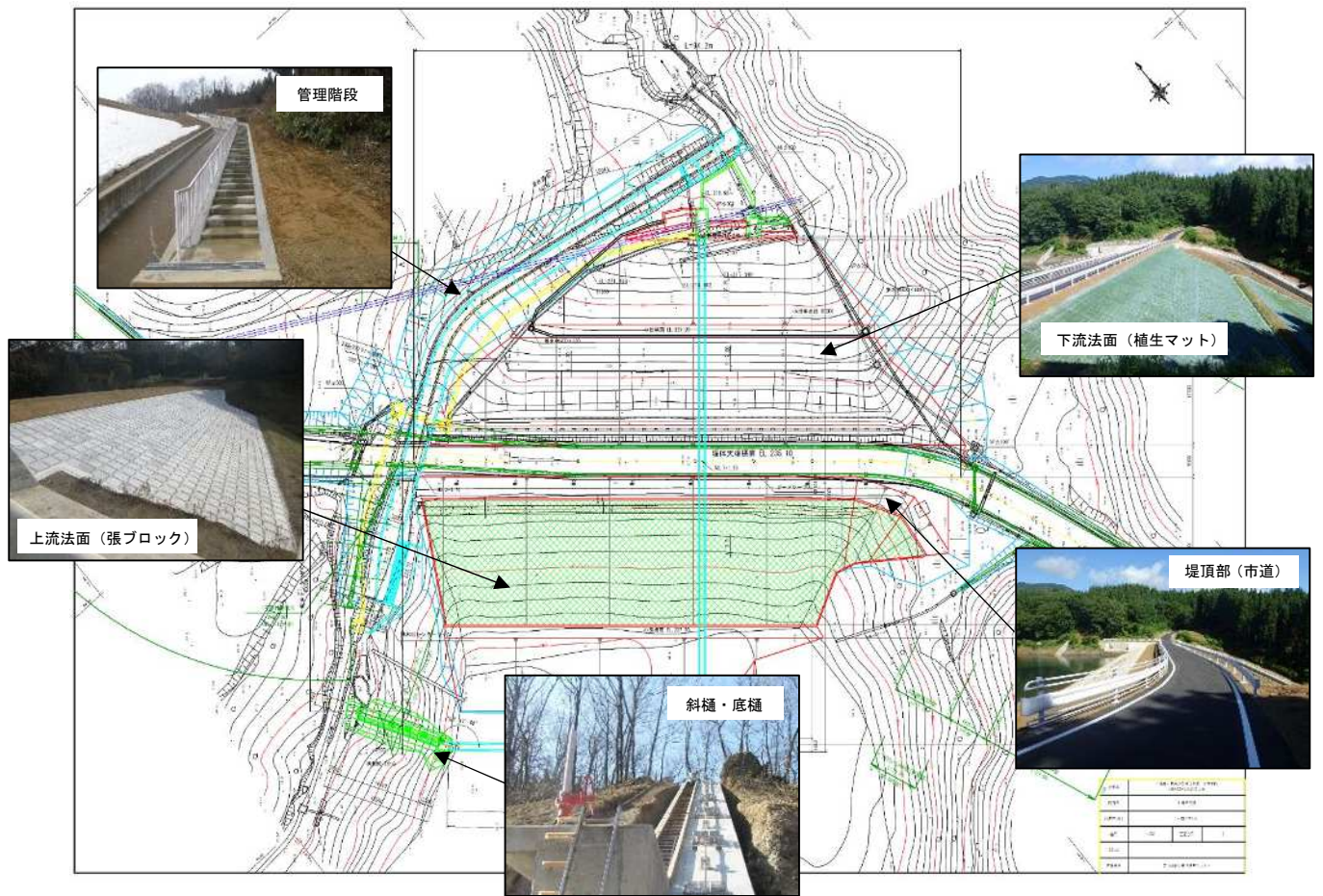


3. 計画概要及び計画図

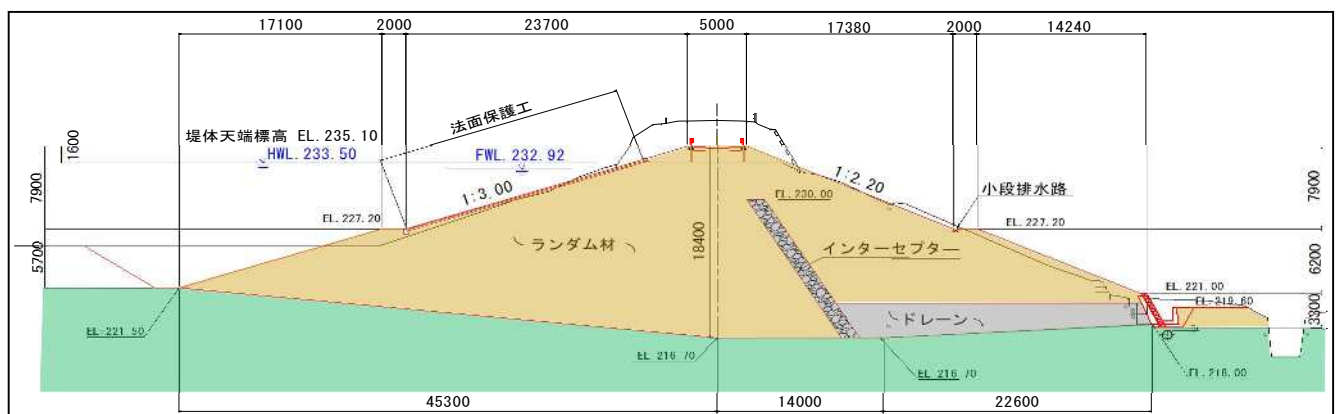
ため池計画概要

項目	内容
堤体	式：均一型（上流側：張ブロック、下流側：植生工） 堤高 18.4m 堤頂長 94.2m 堤頂幅 5.0m 貯水深 11.42m (FWL.)
洪水吐	式：側水路式 延長 103.44m 洪水量 9.50m ³ /s 計画基準雨量 1/200 年：200.9 mm/day 63.6 mm/hr
取水施設	流入部：斜樋型 鋼管巻立（取水孔:φ300×3孔、φ400×1孔） 取水量 0.129m ³ /s 土砂吐水槽部：土砂吐ゲート SUS304 四方水密 800 mm×800 mm 底樋部：柔構造耐震性プレキャスト底樋 φ800 延長 125.6m
貯水量	最大貯水量：77,100m ³
標高	各種標高：堤防天端 235.10m 設計洪水位 233.50m (HWL.) 常時満水位 232.92m (FWL.)

計画平面図



計画横断面図



4. 事業内容

(4-1) 事業概要

項目	内容
所在地	富山県 南砺市 野地 地内
事業名及び地区名	県営農村地域防災減災事業（ため池整備） 野地地区
事業期間	平成29年度～令和3年度
受益面積	14.3ha
最終総事業費	616,700千円
負担割合	国55% 県35% 市10%
目的	農地防災
改修する施設	堤体工、洪水吐工、取水施設工（斜樋、底樋）、付帯施設
事業主体	富山県（砺波農林振興センター）
管理主体	南砺市土地改良区（旧福光町土地改良区）

(4-2) 工種及び事業費

工種	内容	事業費（千円）
工事費		583,791
ため池改修工	堤体工、洪水吐工、取水施設工他	503,840
取水施設工	取水施設（斜樋、土砂吐水門）	19,580
付帯施設工	整備工（安全施設、舗装復旧、法面工等）	60,371
測量設計費	土質調査、用地調査、測量設計	30,967
用地補償費	土地賃貸借、立木補償、損失補償（土砂）	1,942
計		616,700

(4-3) 事業経過

年度	内容	備考
平成28年度	法手続き（同意徴集）	同意率 100%
平成29年度	測量設計	NTC コンサルタンツ(株) (H29)
	土質調査	NTC コンサルタンツ(株) (H29)
平成30年度 ～令和2年度	実施設計	NTC コンサルタンツ(株) (H30)
	用地調査	アースコンサルタント(株) (H30)
	堤体改修工事	笹島工業(株) (H30～R2)
	堤体盛立工事	森組・福光組県営農村地域防災減災事業 野地地区 野地溜池堤体盛立工事共同企業体 (R1～R3)
	取水施設整備工事	水機工業(株) (R1)
令和3年度	管理道路復旧工事	(株)森組 (R3)
	完了整備工事	立野原建設(株) (R3～R4)

(令和4年7月作成)